

みんな待ってた!



入山辺の夏祭り♪



令和5年9月1日現在

世帯数	845戸
男	884人
女	912人
総人口	1,796人

最後はニジマスのつかみ取りで盛り上がりが最高潮に!

親子ひろば4年ぶりの開催!

7月29日に親子ひろばが4年ぶりに開催され、ニジマスのつかみ取り、竹の水鉄砲づくり、金魚すくいなど会場は大いに盛り上がりました。

参加した久保田真桜さんと真咲さんは「金魚すくいが楽しかった。わたあめはソーダ味がおいしかった」、内山海音さんと碧映君は「ニジマスを一匹捕まえることが出来て楽しかった、また来年も楽しみ」と感想を話してくれました。

風船割り

わたあめ (大人気でした)

スカットボール



ひろばまつりも盛大に!



7月8日にひろばまつりが昨年同様入山辺公民館の講堂で開催されました。サークル発表では日頃の活動の成果を存分に発揮されました。



竹の水鉄砲づくり

バンドフェスティバル
について



山辺小学校
6年生
百瀬 果歩さん

8月2日にバンドフェスティバルがありました。私は、4年生のときに金管バンドに入ったけど、コロナの影響で初めて参加しました。

壮行会するときより観客が多くて、最初はとても緊張したけど、音を出し始めれば、そんな気持ちも消えていって、楽しさに変まりました。ちょっとタイミングがズレたり、楽器をたたくところを間違えたりしたけど、今までで一番上手く演奏できたんじゃないかな、と思いました。

演奏が終わった後は、最初に感じた緊張なんてなく、楽しかったや、うれしかったなどの感情があふれてきました。



我が町会の自慢!

千手・駒越町会

古い歴史が残る
駒越集落

駒越集落には、古墳や代々受け継がれた古い史跡や古文書があります。

その一つに、A3サイズほどの銅板に駒越神社の記録が細密に掘られた原板があります。

これには明治三十三年十二月の日付があり、そこには【天正十三年（西暦1585年）十二月、京都祇園菅領の確定書には、武家から武運の神として崇敬された「誉田別名（ほんだわけのみこと）」通称「八幡様」を「駒越大明神」として祀ると記されているが、古書によれば、天長三年（西暦826年）にはすでに駒越神社があり、今から1700余年前から在ったことが明らかにされた」という内容が記されています。

明治四十二年に政府の方針で、宮原神社に合祀させられました。今でも宮原神社には「駒越神社」の看板や、一風

変わった狛犬や常夜燈が拜殿前に一対ずつあります。

このように、駒越という集落は、古くから人々に大切にされてきた歴史が残っているのです。

現在は駒越も過疎化が進み、集落の存続が危惧されますが、これらの事を後世にしっかりと引き継いでいかねばと思っ居ます。

(町内公民館長 新井 勝壽)



駒越神社の記録が細密に掘られた原板を印刷したもの



山家城主四代（四名）の墓

親子おやつ教室

8月2日(水)に子ども会育成会と福祉ひろばの共催企画「親子おやつ教室」が開催されました。「ヨーグルトパバロア」を作り、固まるまでの待ち時間には「平面ルービックキューブ」を作って遊びました。親子で楽しい時間を過ごしました。



みんな集まれ「楽しく学ぼう会」

夏休み期間の月曜日に子ども会育成会の主催行事、みんな集まれ「楽しく学ぼう会」が開催されました。毎回10名を超える子どもたちが参加し、先生のサポートを受けながら集中して学習に取り組みました。学習後はみんなでレクリエーションを楽しみました。8月21日には社会福祉協議会の出前講座「車いす体験」、「アイマスク体験」も合わせて行われ、参加した子どもたちからは「車いすでの段差は怖かったけど、声を掛けてもらえたら安心した」という声などが聞かれ、良い体験となりました。



集中して取り組んでいます



楽しいレクリエーション



車いす体験



アイマスク体験